

一般社団法人 子供みらい基金 機関紙



事務局 2024年11月発行
〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203
Tel: 03-6441-2781 Fax: 03-6441-2789
E-mail: mirai@children-future.info
URL: https://children-future.info
ホームページ 子供みらい基金 検索

Tetote

2025年度入学 子供みらい基金奨学金のご案内です

募集要項は11月末までに子供みらい基金ホームページ上に掲載します

保育士資格取得 奨学金「保育士ゆめ基金」

児童養護施設に暮らし、保育士を目指す子供たちへ

(保育士資格が取得できる教育機関であれば、専門学校、大学など問いません)

「家庭に恵まれない環境に育った自分が、保育士となり、子どもたちに関わる仕事をしたい」 児童養護施設で暮らす子供たちのそんな夢を支えてあげたい、一般社団法人子供みらい基金はそんな思いから保育士資格取得奨学金「保育士ゆめ基金」を運営しています。

募集要項概要<2025年度入学>

- 1) 奨学金
・本奨学金は児童養護施設等を卒園し、保育士資格取得を目指す児童を対象としています
・本奨学金は一人当たり総額60万円の給付型奨学金です(入学時30万円、学校を卒業・保育士資格を取得した就業時30万円)
・他奨学金との重複は問いません
2) 奨学生の資格
・申請時、児童養護施設に在籍している高校3年生
・保育士を目指し、保育士として働く意思が明確であること
・品行方正であるもの
・厚生労働大臣の指定する保育士を育成する学校に通学予定の学生

4年生大学進学奨学金「サンバード基金」

関東近県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)の児童養護施設で暮らす子供たちへ

(学部は問いません)



サンバード基金は、家庭環境に恵まれない子供たちが大学で学び、自らの力で将来を切り開くことを支援する奨学金です。この基金は、篤志家であるJ・Tさんをはじめ、多くのご支援をいただいている方々の厚意によって運営されています。子供たちが世界に羽ばたいていけるようにとの願いが込められています。



募集要項概要<2025年度入学>

- 1) 奨学金
・本奨学金は関東近県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)養護施設等を卒園し、4年制大学に進学を希望する児童を対象としています
・本奨学金は一人当たり年間30万円を4年間、総額120万円の給付型奨学金です
・他奨学金との重複は問いません
2) 奨学生の資格
・申請時、児童養護施設に在籍している高校3年生
・品行方正であるもの
・4年制大学、通学予定の学生

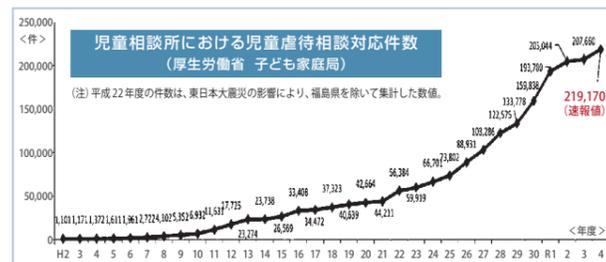
ご支援ありがとうございます!

- 鳥畑 純一 様
(株)未来塾 岸野一夫 様
未来塾チャリティ 様
(株)ハートインターナショナル 様
(株)北山興産 様
(株)ロジネットアドバンス 様
(株)バシ・コム
代表取締役 渡邊ひとみ 様
MIGP チャリティ 様
(株)ライフアレンジメント office 関
代表取締役 関秀樹 様
(株)テイスト 代表取締役 櫻庭乙慶 様
HR ソリューションズ(株)
代表取締役 武井繁 様
(株)ウェブコミュニケーションズ
代表取締役 高山指月 様
(株)M・A-Logi
代表取締役 田中満廣 様
(公社)鎌田財団 様
ネオス(株) 様
大建ビルテクノ(株) 様
(有)谷裕 代表取締役 谷山明美 様
絆ライブ 長井利美 様
なだれ坂音楽祭実行委員会 様
(株)三和 様
(株)葉山国際カンツリー倶楽部 様
(株)葉山産業 様
鈴木 克明 様
渡邊 由紀子 様
上田 彰 様
吉田 眞紀子 様
竹内 陽治 様
(株)suu・suu・CHAIYOO
代表取締役 川口洋 様
田中 早知子 様
鈴木 秀世 様
金代 直人 様
広瀬 崇子 様
久保木 一政 様
(株)ミッドランズ 様
窪田 孝子 様
地引電機工業(株)
代表取締役社長 地引恒夫 様
服部 美亜 様
高橋 昌子 様
サカエイブキ 様
(株)スターエンタープライズ 様
(株)スターストア 様
(株)スタービル 様
(株)ほうらいやビル 様
菅井 栄子 様
額賀 真理子 様
植木 裕 様
堀場 功一郎 様
学校法人 福岡雙葉中学校・高等学校 様
那波 節子 様
(株)モガンボ 代表取締役 田中雅史 様
リーディング(株)
代表取締役 松本朋治 様
高山 真弓 様 (順不同)

多くの皆様のご賛同、ご支援で、子供みらい基金は運営されています。

令和4年度の児童虐待相談件数は、全国で219,170件に達し、前年度の207,660件から増加しています。この増加は、社会全体での支援がますます重要になっていることを示しています。

当基金では、皆様からのご支援のもと、18歳以降の要保護児童への支援を強化し、大学や専門学校への奨学金提供を行っています。また、全国の児童養護施設に暮らす子供たちをディズニーランドやUSJに招待し、夢や喜びを感じてもらおう活動も実施しています。



一般社団法人 子供みらい基金 理事長 池田幸司

今号では、来年度入学の全国の児童養護施設に暮らす子供たちへの奨学金募集のご案内を掲載しております。未来を担う彼らへのご支援を、引き続き賜りますようお願い申し上げます。

児童養護施設の皆様へ

要項の概要は表紙(P1)の通りです。詳しくはホームページをご覧ください、ご応募ください。

ご支援いただく皆様へ

当基金の活動は、皆様の支援を礎として成り立っております。子供たちを継続的に支えていくためには皆様のご支援が是非とも必要です。ホームページからご支援いただくか、当基金までメールなどにてお問い合わせください。

https://children-future.info/ 子供みらい基金 検索 mirai@children-future.info

ご寄付のお願い

子供みらい基金の活動は皆様の善意で成り立っております。金額、時期の決まっていない「スポットでのご寄付」の他、「毎月の定額寄付」(毎月2万円、1万円、5千円、最低2千円でも受け付けております。銀行口座自動引き落とし、クレジット決済も可能です)でもお受けしております。お申し込みは下記の方法でお願いします。

お申し込み方法

1 ホームページからお申込み https://children-future.info/ 子供みらい基金 検索

2 メールまたはお電話でお申し込み・お問い合わせ
一般社団法人 子供みらい基金 事務局
〒106-0041 東京都港区麻布台3-5-5-1203
Tel: 03-6441-2781 Fax: 03-6441-2789 mirai@children-future.info

## 現役奨学生からのお便り 現在の学生生活と現状での将来の夢

現在は大学3年の夏休みの期間を過ごしています。大学では、領域別の実習が始まったところです。実習に行くのは前回で3回目となり、慣れたことだと緊張が減ってきたとともに疾患の理解や看護の意義を深めながら実習に取り組むことができるようになり、看護を学ぶことの楽しさを感じています。残りの夏休みの期間では、前回の実習の振り返りと9月から始まる次の実習に向けた事前課題をしていく予定です。また、来年は就職試験があるため、インターンシップや病院見学等にも参加しています。現在のところ、大学卒業後は大学病院への就職を考えています。大学病院は急性期であることと教育体制が充実していることから、急性期の看護について学ぶ環境が整っていると考えています。具体的な科などの希望は決まっていますが、現時点では将来は分野に限定せずに活躍できるジェネラリストナースをめざしています。そのために就職後数年は急性期病院で多様な病態と看護について学びたいです。そのために、今日の前の勉強を頑張りたいです。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● AIさん

私は現在学科の必修科目と教職科目を主に学んでいます。学科の実験では実験器具の名称や使用目的、使用方法など今後実験で必要となる基礎知識を学びました。実際に得た結果の数値をもとに、Excelでグラフを作成したり、計算したりしました。私が学んできた実験の中で緩衝液の調製とpHメーターに関する基礎実験が1番印象に残っています。緩衝液とは、酸や塩基を加えても水素イオン濃度(pH)を一定に保つ水溶液のことをさします。この実験ではリン酸水素二カリウムとリン酸二水素カリウムを混合してリン酸緩衝液を作成することを目的としています。作成した緩衝液が果たして本当に他の酸と塩基の影響を受けないのか調査したところ、大きなpHの変化が見られず、本当に影響を受けないことが証明されました。本来ならば酸を加えたらpHが7より小さい値に、塩基を加えたら7より大きな値に変化しますが、緩衝液の場合は影響を全く受けないのでとても興味深い実験でした。

教職科目では、日本の教育システムや法令等における位置付け、特別支援学級における障害をもつ生徒との関わり方など幅広いことを学びました。日本の教育システムと世界の教育システムを比較することで特徴をよく理解することができました。今まで学んだことから、日本の教育では生徒の多様化、教師の長時間労働、生徒の主体性などに課題があると考えられます。また、授業内課題で実際に修学旅行のしおりや保護者の承諾書などを作成しました。教師の仕事は体験できてとても貴重な時間になりました。

大学では大まかに上記の二点について学んで、将来教員をめざす意思がさらに強まりました。学科の必修科目を学ぶにつれて、自然現象や生物の体内に関する興味がより深くなり、理科をさらに学びたいという意志と今後多くの生徒に興味を持ってもらいたいという目標ができました。自身の将来の夢を叶えるために、これからは自主的に興味のある分野を学んでいきたいです。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● SUさん

三年生に進級し、卒業も見えてきました。私は現在、ゼミナール論文の執筆計画を立てています。二年生の頃に受講した児童サービス論に興味を持ち、執筆テーマを児童サービスに関連するものとし、まだ調査を通して先行研究を読み、分析してみたいことをまとめている段階ではあるのですが、とても楽しく取り組んでいます。また、先行研究が少なく、似たような文献を探し、少しでもヒントになればと、様々な情報源を用いて、調査を行っています。大変なことはありますが、興味のある分野であるため、苦ではありません。秋学期からは、来年度に向けてさらに計画を詰めていきます。

三年生へ進級してからは、将来について考えることが何度もあります。今、この機関紙原稿を書いている途中でもあります。自分が何をしたいのか、分からなくなっているところでもあります。しかし、学内の職員の方に相談に乗っていただき、少しずつ不安を解消することが出来ているような気がしています。これからも自分のペースで将来のことについて考えていけたらと思います。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● RSさん

現在、私は大学2年生の春学期を修了し、夏季休業期間を過ごしています。今学期は、学業の目標として、GPAの向上を掲げていました。というも、大学3年生進級時に行われるゼミ・卒業研究振り分けで、多くのゼミが1・2年時の成績を加味した選考を行っており、成績の低い学生のゼミ進級が難しく、一定の成績向上を目指す必要があったためです。また、秋学期の必修科目で、高評定をとることが難しい講義を履修しているため、春学期の間に成績を少しでも向上させておきたかったことも理由の一つです。結果的に、2年春学期の平均GPAは1年秋学期に比べ0.7ポイント上昇し、成績向上を達成しました。学外の生活では、所属する大学の軽音サークルで、本年度から企画の一員となりま

した。企画の仕事では、主にライブハウスとのアポイントメント、仮押さえや本予約などを担当し、円滑なライブの開催をサポートしています。将来の進路について、現在も民間企業への就職を考えており、これまでの大学の講義内容を受け、社会学や文化的知見を活かせる職業として、都市開発やインフラ整備に興味を持っています。その中でも鉄道会社は、そのほとんどが路線の運行だけでなく、沿線開発を伴った経営を中心としていることから、とても魅力的です。その他、自動車業界や金融業界など、全く異なった業種にも興味があるため、改めて自分に合った企業探しをしようと思っています。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● YMさん

私は現在、学生生活においてクラスの学級長を務めています。自ら立候補し、集まりや情報伝達、クラス会の運営など、クラスメイトとのコミュニケーションを円滑に進める役割を担っています。また、ボランティアサークルにも所属し、地域の活動や支援プロジェクトに積極的に参加しています。今年の8月には、宿泊を伴うボランティアに参加し、被災地支援や地域復興に関わる活動を行いました。これらの経験を通じて、他者との協力やチームワークの重要性を学び、社会貢献の意識をさらに高めることができました。特に、他者のために行動することで得られる達成感や責任感は、私自身の成長にもつながっています。

将来は、アパレル業界で人事やファッションマーケティングやファッションマーチャンダイザー(MD)として働きたいと考えています。アパレル業界は常にトレンドが変化し、消費者のニーズを敏感に捉えることが求められる分野です。その中で、マーケティングや人材管理を通じて企業を支え、ファッションの未来を形作りたいと強く思っています。そのため、現在の学生生活の中で、業界の知識やビジネススキルを積極的に学び、成長するための努力を惜しまないよう心掛けています。

また、将来働く会社では、家賃補助が出る企業を選びたいと考えています。これは経済的な理由だけでなく、浮いた分のお金を貯金や趣味に使い、人生をより充実させるためです。生活に余裕ができることで、新しい挑戦や学びに積極的に取り組むことができ、自分自身の成長や経験を上げられると信じています。貯金を増やし、趣味や新しいことに投資することで、将来の選択肢を広げ、自由で豊かな人生を歩むことを目指しています。

今後も、目標を実現するために学業や日々の経験を大切にしながら、自分自身の成長と挑戦を続けていきたいと考えています。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● JAさん

大学生生活で前期が終わり、後期に入りました。大学では、まず、履修登録が非常に難しく感じました。大学では自分で授業を選ぶ自由がある一方で、どの授業を取るべきか迷ってしまうことも多かったです。しかし、興味のある分野を自ら選択して学べるのは楽しいです。また、高校までの授業とは異なり、専門性の高い内容を深く掘り下げて学べるのが嬉しく、充実感を感じています。ついていくのが大変な難しい授業もあるので、後期より努力したいと思っています。

サークル活動では、高校時代から続けている軽音サークルに入りました。サークルに参加することで、新しい友人ができ、幅広い人間関係が築きました。サークル活動は思ったより忙しく、練習に追われることもありますが、仲間と楽しく活動しています。勉強とサークル活動の両立は大変ですが、充実した大学生生活を送っています。

現状での将来の夢は、変わらず数学の教員になることです。大学で数学や教育について学ぶことで、現実的で身近なものになった気がします。一方で、現代の日本の教育に関する問題も見えるようになりました。今後は、自身が教員になるだけでなく、教育環境の問題についても考え、改善できるようにしたいと思っています。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● SWさん

私の学生生活は非常に充実しており、大学3年生になった今、時間に余裕が生まれたことで、自転車で様々な場所を訪れるようになりました。特に、風を感じながら新しい景色を発見する楽しさは、自分にとって大きなリフレッシュの時間となっています。現在、週末には近場の名所や観光地に自転車で足を運び、日常の喧騒から離れて自然や文化に触れることを楽しんでます。また、大学卒業までには、自転車で日本一周をするという大きな目標を掲げています。この目標は、ただ単に自転車で長距離を移動するという挑戦ではなく、自分自身と向き合い、新たな土地での出会いや経験を通して成長するためのものです。

将来の夢についても、明確な方向性を持っています。私は情報セキュリティの分野に強い興味を抱いており、この分野でスペシャリストになることを目指しています。情報技術がますます高度化し、サイバーセキュリティの重要性が日々増している現代において、この分野は中長期的に大きな需要があると確信して

います。さらに、自分の興味関心とこの分野のニーズが一致していることも、この道を選ぶ理由の一つです。情報の安全を守るための技術や知識を深め、未来の社会に貢献できる存在になりたいと強く感じています。

一方で、最近では自転車でユーラシア大陸を横断するという夢も抱くようになりました。この壮大な挑戦をYouTubeで記録し、多くの人々とその経験を共有することができれば、どれほど楽しいだろうと、少し楽観的に考える自分もいます。このアイデアは現実的な夢とはまだ言えませんが、実現すれば、これまでの人生とは異なる冒険が待っていると期待しています。

こうした様々な目標を持ちながら、私の学生生活はとても有意義なものになっており、将来への希望と挑戦に満ちています。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● KIさん

専門学校に入学して1年半ほど経ちました。保育士の道に進んでから何回か自分は保育でいいのか、本当に自分に合っているのか悩むことがありました。しかし、学校で同じ夢を目指す友達と支え合いながら、日々過ごしています。

6月に初めての保育園実習があり、とても不安の中過ごしていました。実習期間中は子どもたちと関わるのがとても楽しく、本当にあつという間の11日間でした。子どもたちと関わり、保育士としての仕事を知り、自分も子どもの笑顔を引き出せる保育士になりたいという思いがより強くなりました。学校生活では、ボランティア活動などには積極的に参加し、色々なことを学び自分の将来の選択肢を広げることを心がけています。就職も段々と近づいてきているため、将来について考える時間は多くなってきました。まだ自分が保育園に就職するのか、幼稚園に就職するのか、それ以外の職に就くのか分からない状態です。しかし、「子どもたちの笑顔を守りたい」という思いはこの先も変わらないので、この思いを持ちながら自分に合った就職先を見つけていきたいです。学生生活も振り返りとなり、半分なので資格を取るためにしっかりと学びながら、学校生活も楽しみたいです。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● NSさん

学校生活の様子、現在の将来の夢についてご報告させていただきます。まずは遅い報告になってしまい申し訳ないです。9月の17日から保育園での実習を行っており、28日の昨日に実習があったことにより時間がなく遅くなってしまいました。実習の内容としても今まで、保育士の1日の保育園での様子や、保護者と保育士の関わりであったり日々観察する観点をさえ、しっかり反省、振り返りをを行い学校で学んできた事を最大限に活かし自身の将来の為にならとも良い経験をさせていただきました。

私としましては、まだ現在保育士を目指しており、将来は保育園、子ども園で働きたいと思い、8月26日に面接を行いK学園様に就職が決まりました。数カ所の保育園、子ども園を見学させてもらい何ヶ所も見ながらK学園様が働き方や園での雰囲気自身が合っていると思うもう一度の見学を終え面接をさせて頂きました。就職先は決まっているので、残りの学校生活では将来求められる知識を学んでいながら園として求められている事もしっかりと学んでいきたいと思っています。これからはまっすぐ自身の夢を進んでいきたいと思っております。今後とも応援のほどよろしくお願ひいたします。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● KWさん

今の大学生活について、今期の単位は18単位全て取得することができましたが、4単位分の授業を点数不足で一度落としてしまい、再試験でどうにか18単位全て取ることができたので、次期からは、再試験なしで全ての単位を取るようにしたいと考えています。また、バスケットボールサークルとバレーボールサークルの2つに所属していて、毎週週と金に活動しています。毎週金曜日のバスケットボールサークルでは気の合う先輩や友達と沢山知り合うことができとてもやりがいがある充実した時間を過ごしています。夏もサークルの合宿に参加してサークルの仲良いメンバーで旅行にも行ったのでサークル活動は大学生活にとってとても大切な時間になっています。大学内でも仲の良い友達が沢山でき

て、夏休みには、特に仲のいいメンバーで館山に2泊3日の旅行に行きました。現在の将来の夢については、変わらず児童福祉につこうと考えていますが、後期に特別養護老人ホームでの実習があるので、そこで何か感じるものがあれば、老人福祉についても深く学びたいと考えています。後期には、老人福祉や心理学についても学ぶ授業が増えるので、色々な分野への視野を伸ばす機会として丁度いいと考えています。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● KTさん

保育学生としての生活は時に大変ですが、非常に充実した生活です。私が保育士を目指す理由は、子どもたちの成長を支え、子どもたちの未来に希望を与える存在になりたいからです。大変だと思うのは、まず学業面です。保育士になるためには、専門的な知識や技術を身につける必要があります。子どもたちが安全に過ごせる環境を提供するためには、発達心理学や教育心理学、保育内容指導法、家庭福祉など、たくさんの分野の学習が求められます。特に、子どもの発達段階に応じた適切なアプローチを理解することはとても重要です。授業や実習を通じて、理論を実践に結びつける難しさをすごく感じています。

次に、実習の際の経験も大きな試練となります。実習先では、現場の保育士さんたちから多くのことを学びますが、同時に自分の未熟さを実感することもあります。子どもたちと向き合う中で、時には思うように行かないこともあります。例えば、子どもが泣いてしまったり、他の子とトラブルを起こしてしまったりすることがあります。その時、どう対応すればいいのかを考えることは、簡単ではありません。しかし、その経験を通じて、子どもたちの気持ちや状況を理解し、適切な行動ができるようになりたいという思いが強くなりました。

また、私はピアノがとても苦手です。保育士になるためにはピアノはとても大切です。保育士にとって音楽とは子どもたちとコミュニケーションを図るための重要な手段です。ピアノの練習は難しいです。ですが、たくさん練習をして曲を弾けるようになったときの達成感はとてもうれしいです。これからはもっと練習をしていきたいです。

最後に、保育学生としての大変な経験は、将来の保育士としての自信へとつながると信じています。子どもたちの笑顔や成長に貢献できることは、なによりもの喜びです。大変な日々を乗り越えながら、私はちゃんと自分の夢に向かって進んでいます。これからは多くの困難に直面するでしょうが、それを乗り越えることで、より良い保育士になれると信じこれからも頑張っていきたいです。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● NOさん

入学してから約1年半が経ちました。授業も実技が多くなり、就職活動が本格的に始まりました。5月は、成人した方が入所される障害者施設に実習させていただきました。今まで保育の勉強はしていましたが、障害者施設については知識が不十分だったので、最初は不安でした。けれど、一人ひとりの特性や性格を理解して接していくうちに、だんだん私に心を開いてくれました。言葉が話せない方や動けない方もいる中で、排泄、入浴、食事支援をすることは、大変なことも沢山ありましたが、それ以上に利用者の方との関わりがどれだけ大切なのかを教えてくれました。最終日にはお互い涙を流しながら最後の挨拶をしました。7月には、児童養護施設へ実習させていただきました。初対面でも抱きついて挨拶してくれる子、遠くで様子を伺っている子など、様々な子どもがいました。私は、無理矢理コミュニケーションをとりようとせず、家事や掃除をしていく中で、子どもたちが手伝ってくれたり、話しかけてくれることで距離を縮めていきました。子どもと話すことは大事なことです。子どもが生活している環境を整えることも、児童養護施設で働く上でとても重要なことだと、実習を通して改めて学びました。夏休み期間は、複数の施設を見学しました。これからも見学を続け、10月16日の最後の実習までには自分に合った児童養護施設を見つけ、試験を受けようと思います。私にとって今が1番大事な時期だと感じています。日常の中で不安なことや辛いことは沢山あるけれど、めげずに最後まで全てやり遂げたいです。

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●● YIさん



### 奨学生たちとの交流会を開催しました

子供みらい基金は「子供たちに寄り添うアットホームな奨学金運営団体」です。困ったことがあればいつでも相談も受けています。交流会では、ひとりひとりが将来の夢を語ってくれました。